

昔を！今を！今歌う会

今歌う会 ♪ ラストコンサート

～ これまでの今コンから選りすぐりの名曲を ～

おはなし・歌唱指導 酒井沃子 安田直弘
ピアノ 青柳志保



プログラム

第一部 今コン選りすぐりの名曲

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. タラのテーマ/映画「風と共に去りぬ」より | 作曲 .M.Stiner |
| 2. 忘れな草をあなたに | 作詞 木下竜太郎 作曲 江口浩司 |
| 3. 故郷 | 作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一 |
| 4. 少年時代 | 作詞・曲 井上陽水 |
| 5. 一週間 | 訳詞 楽団カチューシャ / ロシア民謡 |
| 6. 竹田の子守唄 | 竹田地区民謡 |
| 7. ふれあい | 作詞 山川啓介 作曲 いずみたく |
| 8. イヨマンテの夜 | 作詞 菊田一男 作曲 古関裕而 |
| 9. 蛍の光 | 日本語詞 稲垣千穎 / スコットランド民謡 |
| 10. 仰げば尊し | 日本語詞 不詳 作曲 H. N. D. |
| 11. ともしび | 訳詞 楽団カチューシャ / ロシア民謡 |
| 12. 別れの曲 (pf) | 作曲 Chopin |
| 13. 涙くんさよなら | 作詞・曲 浜口庫之助 |
| 14. 今日の日はさようなら | 作詞 金子詔一 作曲 金子詔一 |
| 15. いい日旅立ち | 作詞・曲 谷村新司 |
| 14. また逢う日まで | 作詞 阿久悠 作曲 筒見京平 |

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

## 第二部 リクエストコーナー



♪ プログラムの進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。  
あらかじめご了承ください。

## エピソード

### また逢う日まで！

「昔を！今を！今歌う会」コンサート(略称 今コン)のスタートは2008年(平成20年)でした。当時、会場はあざみ野アートフォーラムでした。  
今回の最終回が2017年(平成29年)ですのでちょうど9年になります(回数は32回)。その間、途中から会場を現在のスタジオ・バルーンに移し、叙情歌・唱歌・ラジオ歌謡・フォークソング・映画音楽などなど幅広いジャンルの曲を皆様と一緒に歌い続けてきたことになります。  
今コンは今回で終了となりますが、また何らかの形でお会いできたらと願っています。尾崎紀世彦が歌った「また逢う日まで」はそんな気持ちにピッタリの題名ですね。

ついなので、この曲について少々触れておきましょう。  
この曲がリリースされたのは1971年(昭和46年)のこと。  
大声量とビートのきいた歌唱でファンを魅了し100万枚近くの売上を記録しました。  
この年はアポロ13号が月に着陸し、日清食品がカップヌードル第一号を発売、沖縄返還協定の調印が行われたと聞くと時の流れの早さを実感します。  
尾崎紀世彦は当時まだプロになりたてで、この曲が実質デビュー曲と言ってもいいでしょう。バタ臭い風貌は父がイギリス人と日本人のハーフ、母が日本人というクォーターのためと言われています。  
彼はこの曲の大ヒットで第13回日本レコード大賞と第2回日本歌謡大賞でいずれも大賞を受賞、紅白歌合戦にも出場と大ブレイクしました。  
ところで、この曲には原曲があったのをご存じでしょうか。  
その曲はズーニーブーというグループが歌った「ひとりの悲しみ」(1970年リリース)。

♪明日が見える 今日の終わりに  
背伸びをしてみても 何も見えない  
何故か悲しいだけ  
何故か虚しいだけ  
こうして始まる 一人の哀しみが  
心を寄せておいで  
暖めあっておいで  
その時 二人は何かを見るだろう



尾崎紀世彦

勿論、両曲とも作詞 阿久悠 作曲 筒見京平のコンビです(曲は全く同じです)。  
「ひとりの悲しみ」を聴いた尾崎のマネージャーが是非彼に歌わせたくて阿久悠にしつこく歌詞を変更するよう依頼した結果が名曲の誕生につながったことになります。  
つまり、「また逢う日まで」は文字どおり歌詞と題名と歌手をかえての再デビューの曲だったわけです。  
「会うは別れの始めかな」と申しますが、別れてもまた逢えるということですね。

♪また逢う日まで 逢えるときまで

別れの歌とは思えない、応援歌のようなこの曲に是非あやかりたいものです。

・皆々様、長年のご愛顧ありがとうございました。  
ースタッフ一同

# プロフィール

## 酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO 法人「65 歳からのアートライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を 今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

## 安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学院大学非常勤講師。

## 青柳 志保 Shiho Aoyagi ピアノ

玉川学園大学文学部芸術学科音楽専攻ピアノ科卒業。ピアニストとして声楽、器楽、合唱等のコンサートに出演する他 ミュージカルやバレエ、演劇の音楽を担当し、作編曲も手がける。青山学院女子短期大学子ども学科兼任講師、目白町教会オルガニスト、社会福祉法人さくら保育園リトミック講師。



☆ご連絡先 ・オフィス・バルーン  
Tel 045-902-7402 Fax 045-901-9914  
E-Mail. office\_balloon@a00.itscom.net